

POSA システム 九州地区ユーザー会の開催

1. ユーザー会報告

一般社団法人日本公園緑地協会（以下、当協会）は平成 28 年 1 月 22 日に「POSA システム 九州地区ユーザー会」を「八重洲博多ビル」において開催しました。

当協会が提供するインターネット型公園管理情報マネジメントシステム「POSA システム」を利用いただいている九州地区のユーザー 5 団体 10 名とシステムの導入を検討している 3 団体 6 名の方にご参加をいただきました。

当日はユーザー 2 団体による POSA システム活用事例の発表や POSA システムの新機能が紹介され、意見交換会では POSA システムの活用方法や質問について活発な意見が交わされました。



写真 1 ユーザー会の様子

(1) 福岡市事例発表

福岡市の古賀氏（住宅都市局みどりのまち推進部みどり管理課）に、福岡市の都市公園の現状、POSA システムを導入したきっかけ、POSA システムの活用事例を報告していただきました。

システムを導入したことで、市民要望の管理において、要望内容の記録、現場確認の写真報告、委託業者への指示と一連の進捗状況がカレンダー表示により管理できるようになり、市民要望への対応が大幅に改善され市民サービスの向上につながったと報告がありました。

福岡市は都市公園が 1,600 カ所以上あり、市民要望は年間 6,500 件と膨大な情報を扱う必要があり、要望情報を POSA システムに集約一元化することで、必要な情報が瞬時に得られることから、職員のサ

ービス水準の向上につながっており、このように情報を共有化することが業務の効率化に非常に有効であると話されました。

福岡市では機構改革に伴い平成 27 年度より小規模公園の管理は各区から直接民間業者へ委託することとなったことから、管理の委託業務に係る委託業者からの出来高報告を POSA システムで行っています。POSA システムは入力・閲覧制限がきめ細かく設定できるため、現在大きな問題は発生しておらず、発注者と受託者の業務報告がスムーズになったとのことでした。

質疑応答において、「膨大な市民要望を職員がシステムに入力するのは大変ではないですか？」の質問に対し、「慣れたらさほど苦にならず簡単です」と回答されました。この点について当協会：「POSA システムはデータベースなので、データを入力することで、はじめてその機能が活かされます。システムを導入する際は、業務改善や意識の改革も必要です」と説明しました。

また、「公園台帳の更新はスムーズにできていますか？」の質問には、「公園の整備を担当した部署が台帳を更新する流れだが、平面図登録がやや難しいため登録できない職員もおり、十分な更新ができていません」と回答されました。この点について当協会：小栗より、「平面図登録をより容易にできるよう改良を考えています」と答えました。

最後に古賀氏は、施設点検の際に二次元バーコードを活用して POSA システムと連動させることで、施設の保守点検履歴を効率的に管理したいと、今後の意気込みを語りました。



写真 2 福岡市 古賀氏(左端から 2 人目)

(2) (一社)長崎県公園緑地協会ユーザー事例発表

次に一般社団法人長崎県公園緑地協会の八尋氏（事務局業務課）には、管理している公園の紹介、POSA システムの日報機能を活用した登録内容などを紹介していただきました。

POSA システムの導入は、日々の管理情報の共有化、データベース化することを目的とし、現在すべての職員がシステムを使用し記録しているとのこと。巡視日報では、利用者数、駐車台数、巡視時に発見した問題、イベントや大会の概要など多岐にわたる情報を登録し、業務報告への活用や業務改善に反映しており、何よりも職員の情報共有が業務の効率化に役立っていると話されました。作業日報では、気象条件等に左右されやすいスタジアムの芝生管理について詳細な管理記録を登録し、これらの記録を活かしながら良好な育成管理を行っています。

質疑応答において「施設の修繕情報を登録していますか？」の質問には、「登録しており POSA を見ればすべて分かるようにしています」と回答されました。「指定管理者として、POSA システム導入は発注側から指示がありましたか？」の質問には、「指示はなく、自主的な戦略として導入しました」と回答されました。



写真3 (一社)長崎県公園緑地協会 八尋氏(左側奥)

(3) POSA システム新機能、新バージョンの紹介

休憩の後、当協会：小栗より、今回参加していない他のユーザー団体の POSA システム活用事例 POSA システムの新機能の利用方法や、現在開発中の新バージョン POSA システムの特徴などを紹介しました。

新バージョンでは、POSA システムの導入に際して、きめ細かなシステムのカスタマイズ要望やシステ

ムのデフォルト機能以上の要望を頂く事に際して、現行バージョンより、さらに容易に対応できるよう拡張性、汎用性を高めることを最重点課題として、幅広い要望に対応できるよう設計を進めているとのことで、操作性の向上はもちろん、指摘のあった平面図の登録や写真の登録機能が改善すると紹介しました。



写真4 当協会 小栗（前列左端）

(4) 意見交換

最後の意見交換では、「長寿命化計画に基づき施設の修繕を実施したいので、それを支援する機能が欲しい」という要望に、当協会：関は「施設の修繕履歴を POSA システムに蓄積することで、長寿命化計画の見直しができるサービスを提供します」と回答しました。また、「POSA システムはデータベースとして情報を蓄えるツールであるが、このデータを活用して分析することにより、業務の改善や効率化、利用者サービスの向上つなげていくことがシステム導入の最終的な目標です」と話しました。

また、「Google ストリートビューのように、園内の写真を 360 度全景で見たい」と先進的な要望も出た一方で、「庁内システムに制限があり、最新のインターネットエクスプローラが使えないので、新バージョンの POSA システムも古いブラウザに対応してほしい」や「市民要望をシステムに入力している途中で、資料を探すことがあるので自動ログアウト時間を延長してほしい」など現実的な要望もありました。

POSA システムはユーザーの皆さんの意見を積極的に取込んで改良し、ユーザーとともに常に進化していくシステムですので、お気軽にご意見を当協会にお寄せ下さい。

2.POSA システム新バージョンの紹介

(1)新バージョン POSA システム 今春リリース

平成28年春に新しいバージョンの POSA システムがリリースされます。現在開発段階ですが、その機能と特徴を解説します。

(2)基本的な考え方

現行 POSA システムは、日報機能を軸とし GIS をベースとしたシステムで、日報と各機能が密接に連携していました。新 POSA システムは公園・施設台帳を軸としそれ以外の機能は自由に増減できる仕様とするとともに、GIS 機能は必要な部分のみに選択利用できるシステムとします。



図1 現行 POSA システムのイメージ



図2 新 POSA システムのイメージ

(3)汎用性の向上

新 POSA システムの一番重要となる機能は、入力する箱を自由に追加できる機能です。現行 POSA システムでは、巡視・作業・苦情・事故と情報を入力する箱がデフォルトで固定されていましたが、新 POSA システムでは箱を自由に増やすことができ、従来の入力内容に加え、許可申請・イベント・工事など、幅広い公園管理情報を扱うことができますので、独自の情報入力スタイルをご希望される際はご相談下さい。

(4)セキュリティの向上

セキュリティ面が強化されます。ログイン時のユーザー名・パスワードに加え、ワンタイムパスワードや画像認証といった第三認証を取り入れることで、さらに安全性が高められています。



図3 メイン画面



図4 ログイン時の画像認証

(5)台帳更新機能の強化

台帳の更新が、さらにスムーズになります。現行 POSA システムでは、平面図を登録する際、あらかじめ平面図を GIS ソフトで位置合わせをする必要がありましたが、新 POSA システムではスキャンした平面図の画像を指定するだけで登録できるようになります。

(6)委託業者との連携

新 POSA システムでは、委託業者にも積極的にシステムが使えるようにします。委託業者への工事発注および委託業者の作業報告・確認が相互にできるようになります。もちろん委託業者に公開する情報は、限定的でかつ入力・閲覧権限を柔軟に設定できます。

(7)スマートフォン・タブレット対応

スマートフォンやタブレットに対応させます。通信回線が確保されている現場から、巡視や作業情報、写真などを登録できるようになり、事務所に戻ってパソコンを操作しなくても入力・報告ができるようになります。



図5 スマートフォンの画面

(8)入力機能の強化

入力画面が自由にカスタマイズできる仕様は、現行 POSA システムから引き継ぎます。さらに新 POSA システムでは入力機能の改善により、現行 POSA システムより多くの種類の入力パーツが使えるようになります。



図6 入力パーツ

(9)操作性の向上

写真の登録はドラッグ&ドロップで簡単にできるなど、操作性が向上します。

また、地図や写真を同じ画面で登録できる機能、誤って削除した際に復帰できるゴミ箱機能など、機能性も向上しています。

(10)印刷機能の強化

印刷機能が強化されます。公園・施設・苦情等の単票印刷だけでなく、一覧印刷もシステムから直接できるようになります。

印刷テンプレートが自由に設定できる仕様は、現行 POSA システムから引き継ぎます。



図7 写真の登録



図8 単票印刷と一覧印刷

(11)長寿命化プログラムなど外部システムとの連携強化

現行 POSA システムでは CSV のインポート・エクスポート機能に施設情報の完全合致という制約がありましたが、新 POSA システムでは CSV インポートでの情報更新は、施設 ID のみの指定で簡単にスムーズにできるようになります。

情報の更新の容易性により、別途提供する長寿命化プログラムや市民投稿システムなど、外部プログラムとのデータ連携がスムーズになります。

(12)現行 POSA ユーザーの方へ

現行 POSA システムをお使いのユーザーは、平成 28 年度に順次新 POSA システムに更新をお願いすることになります。個別にご連絡させていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。